



2022年度

子どもたちの “こころを育む活動” 表彰式

こころを育む総合フォーラムメンバー

入江 杏	文筆家、「ミシュカの森」主宰、上智大学グリーンケア研究所非常勤講師
小国 綾子	毎日新聞ジャーナリスト
工藤 啓	認定特定非営利活動法人 育て上げネット 理事長
玄田 有史	東京大学 社会科学研究所長
鈴木 みゆき	國學院大學 人間開発学部子ども支援学科教授
高際 伊都子	渋谷教育学園渋谷中学高等学校 校長
福田 里香	パナソニック ホールディングス株式会社 CSR・企業市民活動担当室 室長
増田 明美	スポーツジャーナリスト・大阪芸術大学 教授
山極 壽一	総合地球環境学研究所 所長、前京都大学総長
鷲田清一	(座長)大阪大学名誉教授

敬称略、五十音順

2023年

2月9日(木)

14:00~15:30

第一ホテル東京 4F 「プリマヴェーラI」

〈主催〉公益財団法人 パナソニック教育財団

〈後援〉文部科学省



公益財団法人 パナソニック教育財団

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-1-10 第2ローレルビル6階

TEL.03-5521-6100 FAX.03-5521-6200

<https://www.pef.or.jp/kokoro-forum/>

2022年度

子どもたちの“こころを育む活動” 受賞団体

全国各地の家庭、地域、学校、企業などで取り組まれている

「子どもたちの“こころを育む活動”」を募集したところ、

159件のご応募をいただきました。

厳正な選考の結果、本年度の受賞活動は7件となりましたので

ご紹介いたします。



活動
テーマ

35年続く「自分である」ことが嬉しい空間

受賞
団体

ハート&アート空間 ビーアイ〔宮城県〕

〒980-0822 宮城県仙台市青葉区立町20-11ミカミハウス2F
[TEL] 022-262-2969 [E-mail] zoukabako@gold.ocn.ne.jp
[代表者] 関口 怜子 [担当者] 清水 千佳 [HP] https://www.facebook.com/bei1987

活動概要

ワークショップを通じ、作品を作るなど創造表現活動に取り組んでいます。技術の向上が目的ではなく、子どもたちの自由な発想と意思を尊重し、「自分がどうしたいのか」を見つけていく空間。「海苔づくり」「さくらんぼ狩り」など、生産者を訪ね、直接教わる活動も。親や先生以外の大人に出会う機会が、たくさんあり、「ヒト、モノ、自然、言葉」に対し、量ではなく「質」的に、どう出会うのか。自分の存在を肯定し、生きる力を付けていくことを目標としています。

審査
講評

子どもたちの「やりたい」を引き出すことで、自己表現力やコミュニケーション力、個性や多様性など、社会に出た時に大切な土台の部分が育まれています。その自分らしさを育てるための場づくりや出会いづくりが特に優れている点が高く評価されました。



題材・画材選びなど、悩んだり迷ったりした子どもたちも、自信をつけ、すぐに進めるようになっていきます。

活動
テーマ

ともにつくろう白石の未来 ～White Will(しろい志)～

受賞
団体

白石市立福岡中学校〔宮城県〕

〒989-0232 宮城県白石市福岡長袋字山ノ下25
[TEL] 0224-25-3357 [E-mail] info@fukuoka-j.shiroishi-c.ed.jp
[代表者] 柏 良行(校長) [担当者] 小野 宜也(主幹教諭) [HP] http://fukuoka-j.shiroishi-c.ed.jp/

活動概要

ものづくりを活動の軸として、生徒の「自己有用感」を育みます。地域への心豊かな思いを育てることが目的。市内の小学校、高校、特別支援学校と連携し、志教育(人とかかわる。自分自身、より良い生き方を求める。社会の中で自分の役割を果たす)の推進を図ります。生徒の意見や考えを中心に「地域に目を向ける力、自分たちで何ができるのか、地域を盛り上げる」という地域貢献の気持ちを大切に。志の実現に向け、学ぶ意欲を高めていく力を付けます。

審査
講評

地方の少子化が進む中、特別支援学校も含めた学校間の連携で「自分たちができること」で助けあうことにより、社会性や共生のこころを育んでいます。子どもたちが主体的に地域に関わるようになるなど、行動変容をもたらせている点も高い評価を得ました。



ものづくり活動2年目の「福丸ランプ」の制作。福祉施設や高齢者施設、公民館、駅などに贈りました。

活動
テーマ

Cafeで家族の様に愛され育つ子どもたち

受賞
団体

一般社団法人 カザグルマ〔千葉県〕

〒286-0036 千葉県成田市加良部5-5-5
[TEL] 0476-55-2703 [E-mail] cafekazaguruma@gmail.com
[代表者/担当者] 清水 祐治(代表理事) [HP] https://www.kodomoonoibasyo.org/

活動概要

子どもとその親が安心し、心豊かに暮らせる地域社会の実現に貢献することが目的。子どもたちの居場所をつくりたい、健やかに未来に希望が持てるように、と活動しています。成田市でも年々不登校数が増加しており、受け皿が必要とされています。カザグルマでは学校や家庭でもない第三の居場所づくりに取り組んでいます。貧困や虐待、不登校など困難を抱える子どもたちの早期発見や、ひとり親世帯などへの子育て支援を行っています。

審査
講評

地域が抱える問題に対して、コロナ禍の間も地域力で寄り添い、短期間で子どもたちの第3の居場所をつくりあげた点が高く評価されました。また、地域の人たちとのふれあいが、子どもたちのこころのよりどころをつくっている点も評価されました。



フリースクールとアフタースクールでは、教員免許保持者や食育アドバイザーがサポートします。

活動
テーマ

手話で自分と他者が分かり合い豊かに生きる

受賞
団体

特定非営利活動法人 しゅわえもん〔東京都〕

〒167-0035 東京都杉並区今川11-3-1
[FAX] 03-6915-0477 [E-mail] info@shuwaemon.org
[代表者] 野崎 誠(代表理事) [担当者] 秋山 敦恵(事務局) [HP] https://www.shuwaemon.org/

活動概要

耳の聞こえない子どもたちが家族で楽しめる、手話を使った絵本の読み聞かせやニュース、リズム遊びなどの動画を配信するほか、小学生対象のサマーキャンプ、絵本の読み聞かせワークショップなどを開催しています。ろう児たちは、手話を通して世界を広げ、学校や学年の枠を越えた仲間と友情を育むなど、豊かな経験を通して成長しています。17年継続し、成長した子どもがスタッフで参加するなど、次世代のリーダーも育てられています。

審査
講評

特定の人たち以外とのふれあいが少ない中、映像コンテンツで多くの人につながり、キャンプを通して子どもたちの社会性が育まれている点が評価されました。参加していた子どもたちが運営側にまわり、持続的な循環を生み出している点も高評価のポイントです。



出演者や制作スタッフのブラッシュアップにより魅力的な動画が作られ、親子で楽しまれています。

活動
テーマ

クリスマスに笑顔をお届ける、みんなレモサンタ

受賞
団体

一般社団法人 みんなのレモネードの会〔神奈川県〕

〒220-0073 神奈川県横浜市区岡野1-6-48-402
[TEL] 080-6059-9464 [E-mail] makelemonade-37gogo@yahoo.co.jp
[代表者/担当者] 榮島 佳子(代表理事) [HP] https://www.minnanolemonade.com/

活動概要

小児がん患児が、お世話になった病院や施設に、本や玩具などのクリスマスプレゼントを贈る活動です。患児たちは自ら病院に連絡を取り、同じ立場の仲間やきょうだいと協力して贈り物を準備。お世話になった方々へのお礼を通して人を喜ばせる工夫を楽しみ、自己肯定感を高め、その姿が入院中の子どもたちの希望、病院職員の励みになっています。他にも、患児と家族、家族同士が繋がる交流活動を多彩に展開しています。

審査
講評

短期間のうちに全国に広がり、小児がん患児やその家族に求められている活動であることが窺えます。患児の自己肯定感を育てていることに加え、孤立しがちな患児とその家族が同じ立場の仲間とつながりピアサポートとなっている点も高く評価されました。



みんなのレモネードの会のサンタクロース「みんなレモサンタ」の衣装は、明るく元気なレモン色です。

活動
テーマ

表現力・防災力向上! 地域防災演劇ワークショップ

受賞
団体

一般社団法人 フリンジシアターアソシエーション〔京都府〕

〒600-8445 京都府京都市下京区岩戸山町440江村ビル2F
[TEL] 075-344-8970 [E-mail] ftas_info@ftas.info
[代表者] 高橋 良明(代表理事) [担当者] 中田 綾乃(事務局長) [HP] http://www.ftas.info/

活動概要

子どもの防災に関する知識・行動力の向上と、演劇を通じた表現力・コミュニケーション力の向上を同時に目指す『地域防災演劇ワークショップ』に取り組んでいます。児童館をベースに、防災アドバイザーや劇団員の協力のもと、子どもたちが「自分たちの街での防災」を考え、演劇を創作。「社会の中で役割を果たす」「地域コミュニティを担っていく」という、地域社会の一員として活躍できる力を育むことも目的としています。

審査
講評

創作と演劇を通して子どもたちの防災に対する意識や創造力、コミュニケーション力、協働力、表現力を育んでおり、地域防災にも貢献している点が高評価を得ました。他地域への展開もしやすく広がりを持っていることも評価の対象となりました。



災害時、子どもたちがまず、自分の命を守る行動(自助)が取れるようになること、次に、他社を助けるための行動力(共助)を持てるようになることを目標としています。

活動
テーマ

愛されて十年 ちっちゃんな小学校の全校落語

受賞
団体

奥出雲町立高尾小学校〔島根県〕

〒699-1512 島根県仁多郡奥出雲町高尾823
[TEL] 0854-54-9030 [E-mail] takaoto1@town.okuizumo.shimane.jp
[代表者] 桑山 悟(校長) [担当者] 川上 宣久(教諭) [HP] http://mypage.okuizumo.ne.jp/my/igahira/

活動概要

山間にある奥出雲町立高尾小学校は、全校児童5名の極小規模校。積極的な自己表現と大きな社会との関わりを求めて、2013年から全校児童による「高尾小にここにご寄席」を展開しています。地域のお年寄りを対象にした健康寄席から始め、近年では防災、防犯、交通安全、小児がん対策までテーマを広げて、遠方にも招かれるようになっています。地域に愛されて10年。落語を通して視野を広げ、夢と誇りを持ち、意欲的に生きる子どもたちの姿があります。

審査
講評

非常にユニークな手法で子どもたちの豊かな人間性を育んでいます。子どもたち同士が支えあい、一生懸命取り組む姿が地域の交流を生み、元気づけている点が高く評価されました。極小規模校ならではの活動でありながら、それだけにとどまらない好事例といえます。



6年生の囃子。身振り手振りを交えて軽やかに得意ネタを披露し、会場に笑いを生み出します。